

# あらび象報

毎月一回発行  
発行 新屋振興会  
編集 田村芳樹  
印刷 共和印刷所  
明るい家庭は  
朝日から  
朝日新聞専売所

## 新屋 上水道愈よ実現へ

### 総工費六千萬元・すでに着工

年頭を飾る嬉しいニュースとして全町民待望の新屋上水道工事は、三十二年度予算で総工費六千萬元が本決りとなり、その第一期工事は工費二千五百万円が昨年十月からすでに着工されている。

水源は日吉神社境内(拝殿うしろ)だが、第一期工事の至難な配管工(空地)で奈良工務店が着工、貯水場には資金繰り、資材購入、水配り、新屋寄りに畑地一反歩者である地元側との間に解決されを先取りして日北土木株式会社が着工、現在基礎工事を進めている。工費完成の期日は今の所予想水源地から貯水池までの高さは五十メートルでモーターで揚水、浄水してタンクに貯水する。

第一期工事は年内完了が期待され早々の町民にとって好話題である。

## 支所と川新聞も舗装

### 支所と川新聞も舗装

新屋の玄関である支所、川新聞の舗装が完了した。支所は昨十一月末完了、川新聞は市街地とこの面を一新し、さらさらとした交差点となり、川新聞の舗装は、支所と川新聞の舗装が完了した。

## 新屋 公民館を

### 主張

終戦十一年、世の中は、所謂「戦後」の状態から脱して新しい段階に進まなければならない。政治、経済、教育、芸術、文化、生活の刷新である。この刷新は、単に物質的な豊かさを追求するのではなく、精神文化の刷新である。新屋の刷新は、単に物質的な豊かさを追求するのではなく、精神文化の刷新である。

## 迎 奉 孝 悌

### 迎 奉 孝 悌

新屋振興会  
穂積孝悌

謹んで新春を喜び申します。昨年度は、町民各々の一層の協力と奮闘の結果、町民生活の向上に努めました。今年度も、町民各々の協力と奮闘の結果、町民生活の向上に努めます。

## 西年の高令者

### 西年の高令者

新屋に廿三人

西暦で今年七十歳以上の高令者は、新屋に廿三人居る。長寿を祝つて、目出度いことを人々に紹介する。



### 初詣で

新屋の元日の夜明けは日吉神社の初詣でから始まる。日吉神社の初詣でから始まる。日吉神社の初詣でから始まる。

## 民生委員

### 改選さる

新屋町の民生(児童)委員は改選の結果、三十一年十一月一日附で厚生大臣からそれぞれ委嘱された。改選された人々

## 計画の予

### 算化進む

振興会では本年度諸工事業の実現を期し、これが予算化を前年度に引続き進めているが、重要な工事は次の通りである。

# 昭和32年 謹賀新年 1957年

## 新屋振興会

会長 穂積孝悌  
他 会員 一同

## 新屋支所

支所長 大島昌一郎  
他 職員 一同

## 秋田市消防団 新屋地区隊

隊長 森川亮次郎  
第一分団長 大島元吉  
第二分団長 三浦栄松  
第三分団長 櫻田惣次郎  
第四分団長 飯島省吾

## 新屋婦人会

会長 工藤コノ  
他 会員 一同

清潔な風景 濱夕平

有名な観光地に行つて見ると、どこも清潔な風景が広がっている。...

東北パルプ 句会

花八手虹呼んで屋の窓静か 己が影小さく踏みぬ冬もみじ...

忠専寺の独立五十年

金 康 韶

白一色の銀世界の上に昭和三十三年の歴史の上に立つ...

新年随想

黒丸五郎

子供ころはその晴れやかな気分 老年時にその感を探る。...

ハタハタ談議

この頃のハタハタ 穂積生

「ハタハタ」と云へば 近年は「ハタハタ」が...

日新 落成式

日新中学校竣工式は昭和三十三年十月廿五日午前十一時から...

いよいよ独立五十年の記念の年を迎えて、一入限なき世の新春を祝ふのであります。

昭和32年 謹賀新年 1957年

Advertisement for Shintetsu Bank (神吉社) with a grid of branches and services. Includes names like 山本醤油店, 新屋郵便局, 高多茂商, etc.